

おだいば 御台場

江戸時代の南部領内では、異国船警備のために野辺地浦から大槌浦にかけて 30 ヶ所以上の台場(砲台場)が配置されていました。このうち、野田村には「城内(湊浦)」と「古館」の2ヶ所の台場に唐銅筒や木炮が配からがねつつ備され、三崎から小本までの警備にあたっていたことが記録されています。

現在、湊浦の砲台場は野田港を見おろすお台場公園として整備されて、塹壕跡や通路、火薬庫跡など、当時の遺構が残っています。また、古館の砲台場は現在の野田小学校がある丘陵の東側先端にあたります。



お台場公園